



道守長崎通信

<http://www.qsr.mlit.go.jp/n-michi/michimori/nagasaki/index.html>

第12号
平成21年10月

☆☆鷹島特集☆☆

平戸市田平町で道守活動を行っている浦田盛隆さんより、松浦市鷹島町の皆さんの道守活動をご紹介しますので、ご報告致します。

長崎県松浦市鷹島町と佐賀県唐津市肥前町を結ぶ『鷹島肥前大橋』が平成21年4月18日に開通し、離島だった鷹島は九州本土と結ばれました。鷹島は人口約2,500人の島です。生産量日本一の養殖トラフグをはじめとした水産業、葉たばこ栽培、伝統ある石工業を基幹産業としています。橋の開通に伴い観光客が増えて賑わっているところですが、この賑わいを今後も持続しリピーターを確保するには、島全体で観光客をもてなす取り組みが必要だということで、美しい街づくりを進めています。



【鷹島肥前大橋】

～つつじの植樹～

道路沿いや花壇につつじを植樹しました。中学生や保護者、地域の方総出で作業を行いました。住民の結束力が強いところも島の魅力です！



～道守ならぬ公園守!?!～

鎌倉時代、元寇の舞台となった鷹島。1274年の文永の役で元軍が鷹島に上陸した際には、島民が2人しか生き残らなかったともいわれています。元寇で戦った将兵や島民の霊を慰める「元寇記念碑」が建立された宮地嶽は、鷹島で最も優れた展望絶景の地で、昭和52年に公園として整備されました。

その公園をボランティアで管理して下さっているのが、公園近くに住む橋本さんです。公園ができた当初から1年365日のうち360日は、草刈りや植木の剪定などをされています。地域の皆さんも頭が上がらないと、とても感謝されています。



【公園を守ってくださる橋本さん】



【橋本さんのおかげで、いつも美しい姿で観光客を迎えてくれます】

【公園からは“鷹島肥前大橋”も見られます。絶景です。(写真右)】

～鷹島モンゴル村で美化活動～

鷹島のレジャー施設“モンゴル村”は、橋の開通で観光客が急増中です。「観光客に楽しんでもらおう」と商工会や観光協会が中心となって、モンゴル村内の斜面にあじさいを植えました。しかし、管理が大変なようで、綺麗で手がかからない花はないかと検討中です。



皆さま、良い情報がありましたら是非教えてください。

【ゲルに宿泊することもできます】【急斜面にあじさいを植えていました】

是非、鷹島を訪れてみて下さい！島の人たちの温かさに感動しますよ！！

「100年の森 植樹祭」第2弾

平成21年9月6日（日）、相浦中里インターチェンジで「100年の

森 植樹祭」が開催されました。平成21年度末に供用を目指す佐世保道路、佐々佐世保道路のインターチェンジで市民による樹林化を計画し、8月8日の佐世保中央ICでの植樹祭に続き、今回が第2弾となった植樹祭です。多くの市民の皆さんに植樹を行って頂くことにより、この道路が市民に親しまれる緑豊かな道路になることを願って実施されています。今回も600人も市民の皆さんに参加して頂き、シノキやタブノキなど24種類の苗木約6600本を一本ずつ丁寧に植えて頂きました。



【たくさんのお子もたちが汗だくになって頑張ってくれました。】

“ながさき見守りたいプロジェクト” 発足

この度、雲仙市小浜町・千々石町と長崎市東長崎地区を対象に、地域の歴史や文化をまとめて、おもてなしできる人材を育成し、観光振興を図ることを目的に、『ながさき見守りたいプロジェクト』を発足しました。このプロジェクトの発足に先駆け、9月2日（水）に千々石町で調整会議を行いました。千々石町でまちづくりの活動を進める“TEAM GEAR（チーム・ギア）”の松本さんに活動方針を説明して頂き、その後千々石のまち歩きをして、地域の魅力や課題を確認しました。



“水”と言えば、島原の湧水が有名ですが、実は湧水量は千々石の方が多いです。千々石町では、至るところから水が湧き、いつでもどこでも水を飲めます。また、水の恵みに感謝し、各家庭で大切に水神様を守っています。

9月14日（月）には、小浜町で調整会議を行いました。こちらでもボランティアガイドさんの案内でまち歩きをして、まちの魅力確認を行いました。その後、長崎県教育センターの寺井先生に『ジオパーク』の講演をして頂きました。『ジオパーク』とは、**価値ある地質遺産を保護しながら、計画的に教育や観光に活用し、地域経済を発展させる**取り組みです。世界ジオパークの認定を受けるには、世界遺産よりも厳しい規定をクリアしないといけないそうです。8月に島原半島が日本で初めて『ジオパーク』に認定され、島原半島全体でこれを活かした取り組みをしようという機運が高まっています。



講演後の意見交換会では、「今日のような勉強会をもっと大きな規模で行い、市民への『ジオパーク』の周知を図ろう」とか「断層や土石流跡を巡るツアーを企画しよう」等の意見が出されました。

【写真左】『地学』と聞くととても難しそうなイメージですが、寺井先生は身近な風景を提示しながら、とても分かりやすく説明して下さいました。



各地で花植え活動が実施されました

＜長崎市＞

長崎市の諏訪神社下では、**ロードスターズ**（株星野組）の皆さんが花植え作業を行いました。長崎くんちの前に、道路を美しく彩り、多くの観光客を迎えました。



（右・ロードスターズの皆さん）

＜雲仙市＞

雲仙市雲仙温泉街では、**雲仙を美しくする会**の皆さんが花の苗植えを行いました。秋の観光シーズンに向けて、多くの観光客の目を楽しませてくれそうです。



「街が美しく彩られ、街行く人の目を惹いています。」

お問い合わせ
情報送付先

【道守長崎会議広報担当】国土交通省 九州地方整備局 長崎河川国道事務所 調査第二課 沼野・浦田
住所：〒851-0121 長崎市宿町 316 番地 1
TEL：095-839-9861 FAX：095-839-9648 E-mail：numano-t8910@qsr.mlit.go.jp